

【 記 入 例 】 講習会申込書(修了者台帳)

建災防大阪 様式(1)

受講希望日 令和〇〇年〇月〇日～〇〇月〇日	回数	受講番号	
講習の種類 コンクリート橋架設等作業主任者技能講習	支部記載欄		

申請内容に相違ない旨の申立て	建設業労働災害防止協会 大阪府支部長 殿 以下の記載事項に虚偽はありません。記載事項に虚偽があり、受講後、修了証が無効となっても異議申し立ては致しません。	受講者印 印	講習を受講される方は、ここに必ず押印が必要です！
----------------	--	------------------	---------------------------------

フリガナ 〇〇〇〇 〇〇〇	生年月日 昭和・平成 〇〇年〇月〇日	年齢 満〇〇才
受講者氏名 〇〇 〇〇		

現住所 郵便番号 〇〇〇 - 〇〇〇〇	〇〇 都・道・府・県 〇〇市〇〇〇〇 〇-〇〇〇	日中ご連絡の取れる電話番号 〇〇〇(〇〇〇〇)〇〇〇〇
---------------------	--------------------------	-----------------------------

フリガナ △△△△△△△△	(該当の場合〇印)
会社名 △△△△建設(株)	建災防大阪府支部 会員

勤務・所属先所在地 郵便番号 〇〇〇 - 〇〇〇〇	〇〇 都・道・府・県 〇〇市〇〇〇〇 〇-〇〇〇	所属部署名: 〇〇部〇〇課
	ご担当者氏名: 〇〇 〇〇	TEL 〇〇 (〇〇〇〇) 〇〇〇〇 FAX 〇〇 (〇〇〇〇) 〇〇〇〇

各証明欄への記入が必要な講習
 ・「証明欄①」と「証明欄②」……各作業主任者技能講習(酸素欠乏・硫化水素、有機溶剤、石綿は記入不要です)
 ・「証明欄②」と「証明欄③」……玉掛け技能講習(経験者コースのみ)
 ・「証明欄①」と「証明欄②」と「証明欄④」……安全衛生推進者能力向上教育(初任時)

証明欄①	当該業務の経験年数	昭和・平成・令和 〇〇年〇月〇日から 昭和・平成・令和 〇〇年〇月〇日まで	(通算 〇〇年 〇〇ヶ月)
------	-----------	---------------------------------------	---------------

証明欄②	証明欄への記入事項に相違ないことを証明します。		
事業主証明欄	郵便番号 〇〇〇-〇〇〇〇	電話番号 〇〇(〇〇〇〇)〇〇〇〇	
	所在地 〇〇〇〇〇〇〇〇〇 〇-〇〇〇	式建△ 会社△ 社株△	一人親方等で社印がない場合は、受講者の同僚の方等の直筆と押印により証明して下さい。受講者本人による証明は不可です。
	事業場名 △△△建設(株)	代表者氏名 □□ □□	

証明欄③	※玉掛け技能講習の「経験者コース」を選択した場合は、下欄をご記入の上、上記の「証明欄②」にご記入・ご捺印下さい。		
	玉掛け補助作業の経験年数(6ヶ月以上)	受講者を直接指導した玉掛け技能講習修了者氏名及び交付年月日	
	年 月 月	氏名:	交付年月日:

証明欄④	安全衛生推進者能力向上教育(初任時)を受講される方は、右欄の該当する最終学歴に〇印の上、上記の「証明欄①」と「証明欄②」にご記入・ご捺印下さい。	最終学歴	大学 高等学校 } 卒業 高等専門学校 中等教育学校
------	--	------	-------------------------------

受講資格に関する申請 (免除コースおよび一部科目免除の申請)		証明書確認者
作業主任者技能講習を受講する方で、現在取得している資格等により講習科目の一部免除を受ける場合はご記入下さい。但し、お申込みの際に、合格証(修了証)の写しを添付して下さい。	資格名称:	
	交付年月日:	
学校教育法による大学・高等専門学校・高等学校等において土木、建築に関する学科を専攻して卒業し、当該業務の経験を2年以上有する方が受講する場合は、お申込みの際に卒業証明書又は卒業証書の写しを添付して下さい。		

写真 のりづけ 裏面に氏名を記入したもの (3.0×2.4cm) 無背景・3ヶ月以内のもの。普通紙によるカラーコピーは不可。	総合判定	修了年月日	
	修了証番号	交付年月日	

◎この申請書に記載していただく氏名、生年月日等の各項目は、法律で記入することが定められています。
 ◎講習の種類ごとに、太枠の中に必要事項を正確に記入してください。また、必要に応じてA4用紙で印刷して下さい。
 ◎記入していただいた氏名、生年月日等は、この技能講習の事業以外では一切使用いたしません。また、この申請書は、建設業労働災害防止協会大阪府支部が実施する講習にのみ使用できます。

実施管理者	受講資格と本人確認者	
-------	------------	--

修正テープ等での修正は不可です。間違った箇所を二重線で消し、訂正印(受講者印で可)を押して、正しい語句、数字を記載してください。

修正テープ等での修正は不可です。間違った箇所を二重線で消して、証明欄①④の修正は受講者印では不可【この証明欄①④の修正は受講者印では不可】を押して、正しい語句、数字を記載してください。